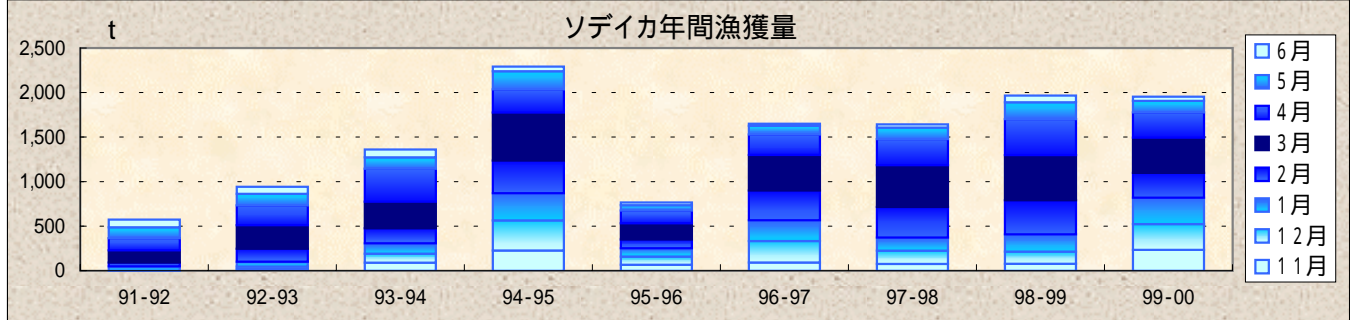
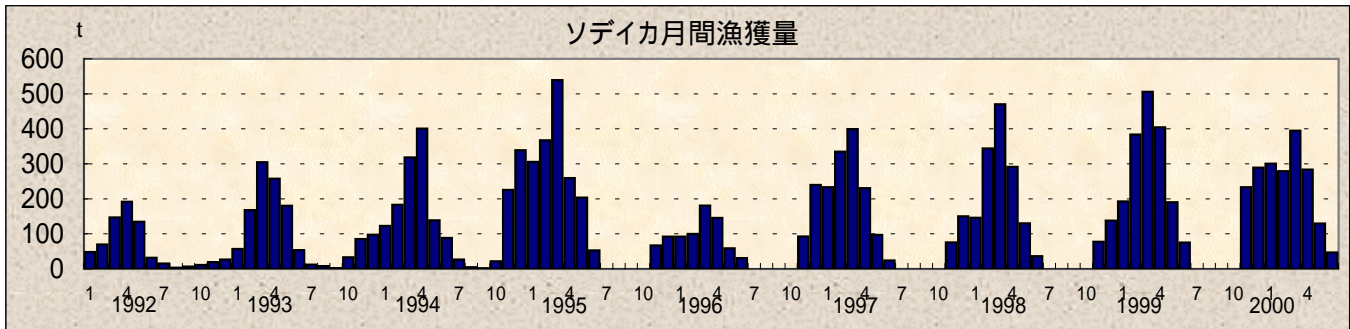


ソデイカ情報

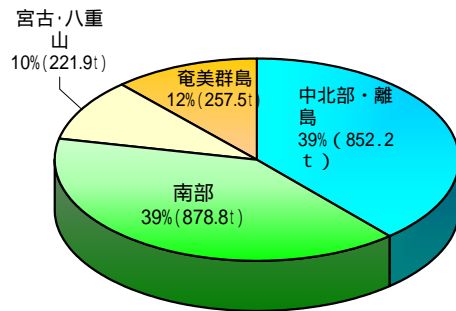
2000年10月発行

第6号

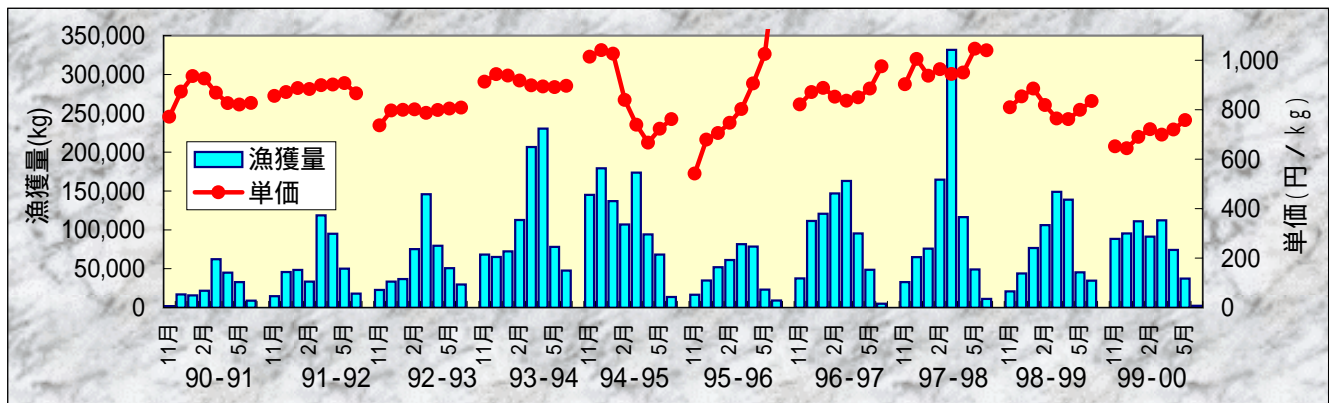
下の2つの図は、1992年から2000年における沖縄県全体のソデイカ漁獲量です。上側が月間漁獲量、下側が年間漁獲量です。99-00というのは、1999年11月から2000年6月の漁期を表します。漁獲量は、水産試験場が毎月各漁協から提供していただいている市場情報を集計したものです。市場外出荷の多いいくつかの漁協については、これも加えました。98-99期は、それまであまりソデイカを漁獲していなかった漁協も相当ソデイカを漁獲し、市場外出荷しました。この傾向は、当面変わりそうにありません。今期は出だしは好調でしたが、後半はそれほど漁獲が伸びず全体としては前年並みでした。ソデイカの漁獲量は毎年3月か4月に最も多くなります。94-95期は、これまで最高の漁獲量でしたが、翌年の95-96期は漁獲量は急減しました。その後は比較的安定して推移しています。



右の図は、99-00期の沖縄・奄美海域のソデイカ漁獲量約2,300tを4つ区域に分けて示しています。奄美海域では、今期は前期の漁獲の約5割増でした。各県の水産試験場からの報告によると、99年の日本海側での漁獲量は1694.6tで前年に比べて5割程度の漁獲量でした。



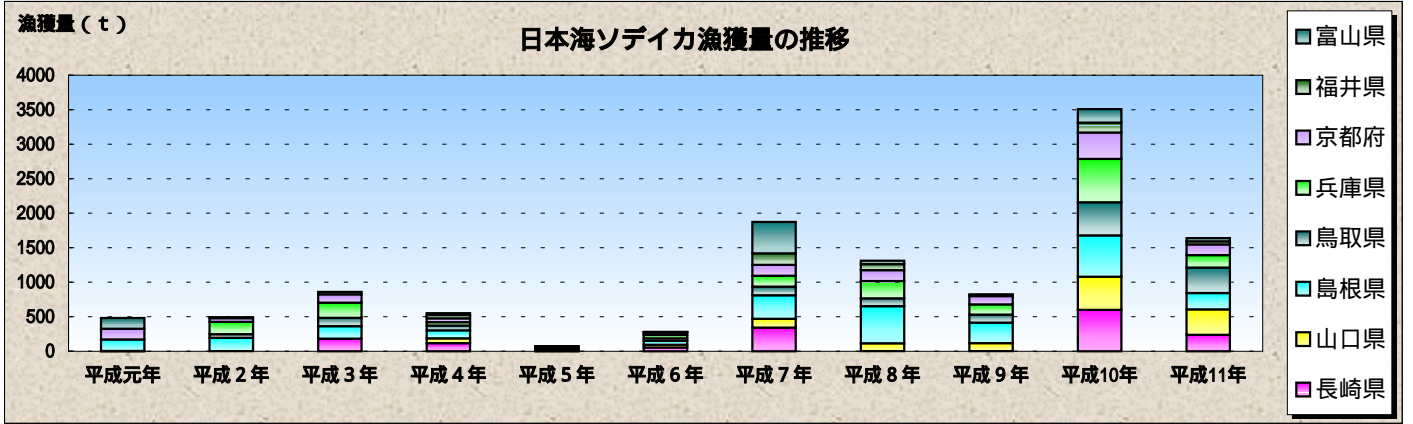
下の図は、1990年から2000年までの本島南部3漁協での月間漁獲量と月平均単価を示しています。ソデイカの単価は複雑に変動し、漁獲量と単純には関係していません。内地での需要や在庫状況に左右されるものと思われます。



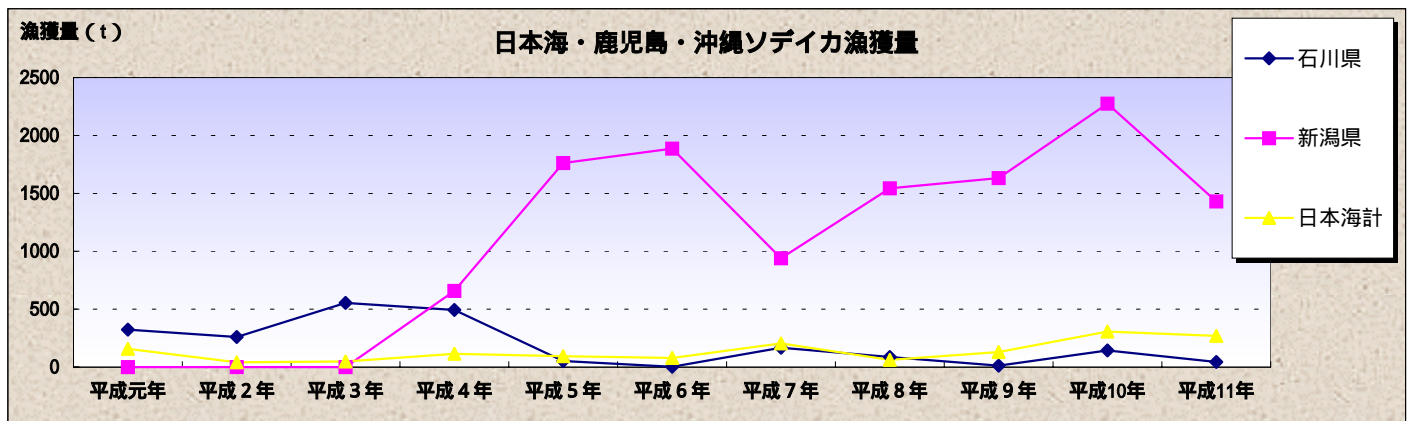
*漁獲量・単価は南部3漁協（糸満・知念・港川）の漁獲データを基に算出した。

沖縄県水産試験場

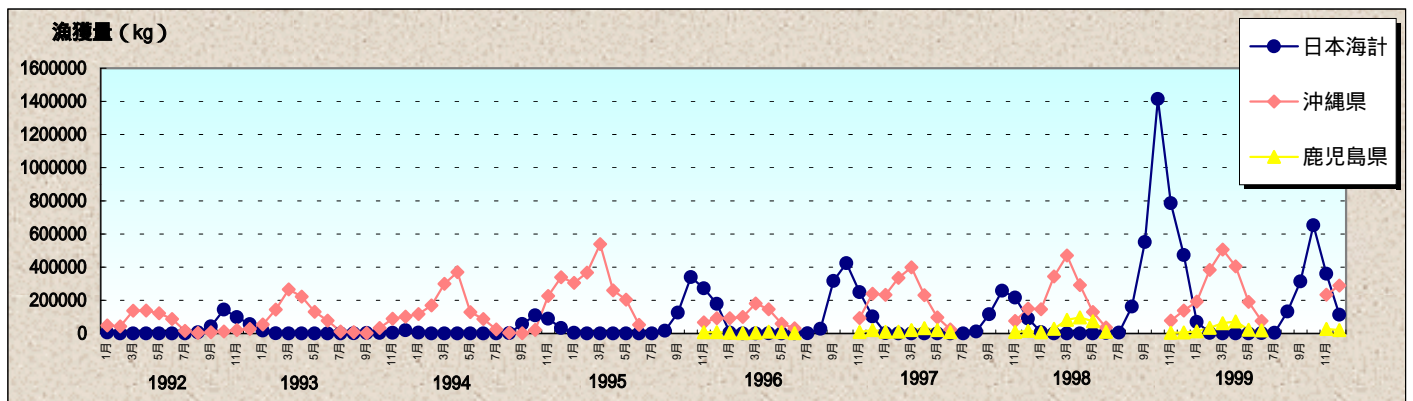
901-0305 沖縄県糸満市西崎 1 丁目 3 番 1 号
 電話 098-994-3593・3597
 ファクシミリ 098-995-2357



上の図は、日本海側各県のソデイカの漁獲量を表したグラフです。日本海側ではソデイカとして統計データが整備されていないこともあって過去の漁獲量はあまりはっきりしません。漁獲量が最も多いのは兵庫県で、平成11年(1999年)は655.1tの水揚げがありました。



上の図は、日本海全体と、沖縄・奄美海域のソデイカの漁獲傾向について示しています。また、下の図は、日本海側・沖縄・奄美それぞれの海域のソデイカ漁獲量を月別に集計したものをグラフ化したものです。



現在のところ、日本海側と沖縄・奄美海域の漁獲量の相関関係ははっきりとは見られないようです。日本海側では、漁獲のピークとなるのは、10月～11月ですが魚体は小さめです。

*漁獲データは、鹿児島・島根・鳥取・兵庫・京都・福井・富山・石川・新潟の各水産試験場のデータ提供によるものである。